

／ エネルギーを制する住宅が日本の希望になる／  
賢い暮らしをするための  
「スマートハウス」という選択



ひと昔前には「夢の未来型住宅」のように思われていたスマートハウスが、近年、急速に身近なものとなっています。ではなぜ、スマートハウスが注目されているのでしょうか？ 今、日本でスマートハウスを選択することの意味について、「未来永劫の価値の創生」を謳ったスマートハウス「Smart2030 零和の家<sup>®</sup>」を展開している、MRI増田総研・株式会社増田総合研究所の増田文彦社長に聞きました。

### そもそも スマートハウスとは？

「スマートハウス」と聞くと、多くの方は、「家中の電化製品がインターネットでつながって、何でも自動化された家」といったようなイメージを抱くのではないのでしょうか。そのイメージは、正しくは「スマートホーム」と呼ばれるもの。スマートホームは、ITやネットワークで様々なサービスを受けられる家の「状態」を意味する概念です。これに対してスマートハウスは、家自体が賢い（＝スマート）機能を備え、「家」自体がその機能を「制御」し、健康で賢い暮らし方ができる家のことを指しています。

例えば、スマートフォンに当てはめていただと分かりやすいかもしれませんが。昔の電話は通話機能だけしかあ

りませんでした。様々な技術が高度化したことで、カメラや録音機、ゲーム機などの機能がついてどんどん賢くなっています。そのおかげで私たちは、スマートフォンの様々な機能を使って、より賢く暮らすことができるようになりました。これと同じで、そこに住まう人がより賢く暮らすための機能を「家」が備え、それをAIが自動で「制御」する家が、スマートハウスです。

### Smart2030 零和の家が 「健康」住宅だという意味は？

様々な住宅メーカーがスマートハウスを打ち出している中、「Smart2030 零和の家<sup>®</sup>」は、スマートハウスを住まう人の体と心と家計の「健康」に貢献する究極の「健康」住宅と位置づ









平屋タイプの「陽暮らしの家」。一人世帯や子どもたちが巣立った後の夫婦などの、「できるだけシンプルに、かつ経済的に」暮らしたいニーズに対応。

上がっています。実際、2022年の冬には、一般家庭や店舗の電気料金がこれまでにならぬほど上昇し全国に衝撃が走りました。しかし、太陽光発電などによる創電・蓄電機能を家が持つていれば、こうした状況に左右されることなく、節電のストレスもなく、家計を安定させることができます。

とはいえ、太陽光パネルによる創電は、天候に影響されるもの。電気の自給自足には、創電、蓄電、売電といった電力コントロールが必要ですが、「Smart 2030 零和の家<sup>®</sup>」でそれを担うのが「AIクラウドHEMS」です。HEMS (Home Energy Management System (ホームズ)) は、家の中のエネルギーを見え



EV専用パワーコンディショナの導入で、我が家の車が発電所に。

る化するシステムです。「AIクラウドHEMS」は、単なる見える化だけでなく、住む人の生活リズムを学び、いつどの時間にどの設備に充電や給電するかを自動で判断、これに加え、非常時への備えや電気の売買までを考慮し、総合的に家のエネルギーの「制御」を行います。その結果「Smart 2030 零和の家<sup>®</sup>」では電気を買わない家、停電しない家を実現しています。「例えば、梅雨時などで長期長雨警報が発令されたら、電力が不足することを予測して、蓄電池やEV車があればそれにもフル充電します。それだけではなく、電気の価格、家族の生活スタイル、EV車の使い方などでもAIが把握・予測し、最も経済的な充電電をリアルタイムにコントロールしてくれるのです」地球温暖化が影響していると言われてはいますが、近年は大規模な自然災害が頻発するようになってきています。これまでは、被災し

たら地域の避難所へ身を寄せることが一般的でしたが、「Smart 2030 零和の家<sup>®</sup>」は停電しないので、「家が避難所」になります。「Smart 2030 零和の家<sup>®</sup>」は、家の電源となるEV車、蓄電池、エコキュート(給湯器)、エアコン室外機などをすべてガレージ内に設置し、ガレージの人口には止水シートを施すことで、住環境を守る機器を浸水から防止。重要な設備をしつかりとガードし、被災して数日間ライフラインが止まっても、トイレやシャワー、冷蔵庫、冷暖房などが支障なく使え、スマートフォンやパソコンに充電することができる住環境も担保します。もちろん、近隣に電気を融通することも可能なレジリエンス性能の高い家です。

### スマートハウスがつくる日本社会の未来像とは？

近隣と電気を融通し合うという発想を、さらに拡大させたのが、「VPP」です。VPPとは、「Virtual Power Plant (仮想発電所)」の意味で、地域の住宅、オフィス、工場などがそれぞれ発電システムを持ち、創った電気を地域全体でシェアするという「電力の地産地消」の考え方。現在、経済産業省が力を入れている施策の一つで、2030年に向けて新たな

## MRI増田総研が提案する

### 家づくり5つの約束

1

健康を第一に  
考えた  
家づくり

2

省エネを超える  
エネルギー自給率  
100%を目指す

3

地震・災害から  
家族の命を  
守る

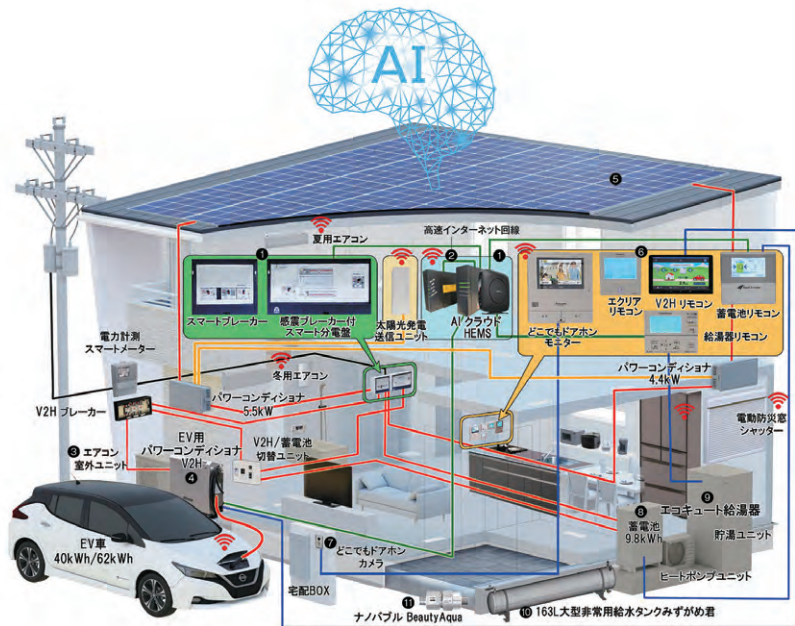
4

急変する  
エネルギー事情へ  
対応する

5

家の  
資産価値を  
担保する





IoTプラットフォームを使い、Smart2030 零和の家<sup>®</sup>のすべての設備をAI搭載HEMSにつなげた「究極のスマートハウス」

- ① スマート分電盤とクラウドHEMS
- ② 新電力ダイレクトパワー
- ③ ひかりフレッツ
- ④ 加湿式エアコン室外機
- ⑤ EV車の充電・EV車からの給電
- ⑥ 大発電太陽光パネル
- ⑦ モニター群
- ⑧ どこでもドアフォン
- ⑨ 大型蓄電池
- ⑩ ソーラーモードエコキュート
- ⑪ 大型非常用吸水タンク水がめ君
- ⑫ ウルトラファインバブル Be-Life

VPP社会の創生を目指しています。これまでは、電気は電力会社の発電所でつくり、変電所を通じて家や店舗に送られるという流れが常識でした。しかし、VPP社会ではこれが大きく変わります。近い将来、個人の家でつくった余剰電力は、電気の足りない家に販売できるようになります。「AIクラウドHEMS」は電力会社とネットワークでつながり、電力市場の価格も見越していますから、高額収入を得るタイミングをしっかりと判断してコントロールします。エネルギーを自給自足でき

るばかりか、お金を溜めることもできるのです。電気代が家計を圧迫する中、電気を買う必要のない「Smart2030 零和の家<sup>®</sup>」は、私たちが節電のストレスからも解放します。ストレスから解放され、災害への不安が払拭できれば安心につながります。家を建てた後、ランニングコストのかららない家で、住む人を健康で前向きにしてくれる家。賢い暮らしを楽しむ人のための、賢い家。それが、「Smart2030 零和の家<sup>®</sup>」です。



この表紙が目印です  
スマートハウスの家づくりに関する知識が満載の『金持ち父さん貧乏父さんの家づくり』（加藤善一著・増田文彦監修/ザ・メディアジョン発行）。

失敗しない家づくりのために もっと知りたいのですが…？  
コロナ禍により、私たちの生活は大きく変化しました。リモートワークが一般的になり家にいる時間が長くなった一方、予想もしなかった経済的ダメージも多くの方が経験しました。物価は高騰し、大規模自然災害も各地で起きています。「いつ何があるか分からない時代だからこそ、生活の拠点となる家は、賢さが詰まったスマートハウスを選択してほしい。スマートハウスを選ぶべき理由については、まだまだ伝え切れません。そこで、おすすめの参考書として、私が監修し、当社とともに「Smart2030 零和の家<sup>®</sup>」を展開しているエスイーエー株式会社の加藤善一代表取締役が執筆した「金持ち父さん貧乏父さんの家づくり」（ザ・メディアジョン刊）を挙げておきます。スマートハウスは、未来永劫の価値をつくり出せる家です。ぜひ参考にして、失敗のない家づくりをしてください」

Company Data

増田 文彦  
株式会社増田総合研究所  
代表取締役社長



1984年武蔵工業大学工学部を卒業。アメリカ留学の後、(株)ナック(現東証一部上場)で社内ベンチャーとして工務店の支店長と(株)レオハウス(タマホーム九州(株))を立ち上げる。その後、タマホーム(株)専務取締役、タマホーム東北(株)代表取締役社長を拝命。2014年からは、(株)ヤマダ電機(現(株)ヤマダホールディングス)にて(株)ヤマダホームズ代表取締役社長、代表取締役会長、(株)ヤマダ住建ホールディングス代表取締役会長を歴任。(株)ヤマダホールディングスの山田会長に、(株)ヒノキヤグループと(株)レオハウスの買収を提案する。2021年4月(株)絆ジャパンの設立とともに代表取締役に就任。2024年4月MRI増田総研、(株)増田総合研究所を設立し代表取締役社長に就任。事業内容は工務店支援事業、友好的M&Aご紹介、節税コンサルティング事業、M2塾主宰、不動産投資など。次世代スマートハウス推進協議会を立ち上げ、賢い家づくりスマートハウスの普及活動を行う。

MRI増田総研  
株式会社増田総合研究所

所在地 〒102-0085 東京都千代田区六番町6-4  
LH番町スクエア5F

MAIL fumi9999jp@yahoo.co.jp

LINE



事業詳細

